

社会資本総合整備計画 事後評価書																
計画の名称	都市における災害に備えた避難・物資の輸送に資する幹線道路ネットワークの整備（防災・安全）															
計画の期間	平成３０年度 ～ 平成３４年度（５年間）												重点配分対象の該当			
交付対象	千葉県															
計画の目標	緊急輸送道路及び避難場所へのアクセス道路等の整備や、大規模地震発生時の長時間踏切遮断対策としての踏切除却及びバイパスの構築を実施することにより、災害時にも機能する幹線道路ネットワークの強化・構築を図る。歩道整備やどうろかい交通安全対策等による道路利用者の安全性や利便性の向上、安全安心なまちづくりによる暮らしやすい生活環境づくりを図る。															
全体事業費（百万円）		合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		5,767	A	5,767	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30		H34
1	都市における道路ネットワークの整備率			
	都市における道路ネットワークの整備状況の指標として千葉県内の都市計画道路の整備延長を計上する。 都市計画道路の整備率（％）＝ $\sum$ 整備済み延長（km）/ $\sum$ 都市計画決定延長（km）	58%	%	58%
2	県内全域での交通死傷事故件数を２０，０００人以下にする 県内において発生した交通事故による交通事故死傷者数を用いる	22260人	人	20000人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	千葉県	直接	千葉県	S街路	改築	（都）葛飾橋矢切線	現道拡幅 L=0.3km	松戸市	■					1,396		-
	A01-002	街路	一般	千葉県	直接	千葉県	S街路	改築	（都）柏船橋取手線	現道拡幅 L=0.7km	柏市	■					5		-
	A01-003	街路	一般	千葉県	直接	千葉県	S街路	改築	（都）八千代台花輪線	現道拡幅 L=0.5km	八千代市	■					480		-
	A01-004	街路	一般	千葉県	直接	千葉県	S街路	改築	（都）美浜長作町線外 2 線	現道拡幅 L=0.8km	千葉市、習志野 市	■					2,630		-
	A01-005	街路	一般	千葉県	直接	千葉県	S街路	改築	（都）美浜長作町線	現道拡幅 L=0.5km	千葉市、習志野 市	■					1,256		-
											小計						5,767		
											合計						5,767		

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 整備計画担当課にて評価を実施。	事後評価の実施時期 令和7年3月
	公表の方法 千葉県ホームページで公表
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	都市における災害に備えた避難・物資の輸送に資する幹線道路ネットワークの整備を目的とした道路整備は、計画通り推進された。 また、整備に伴い、県内全域での交通死傷事故件数は低下した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○ 特記事項（今後の方針等）	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	都市計画道路の整備延長		
	最 終 目標値	58%	
	最 終 実績値	58%	
2	交通事故死傷者数		
	最 終 目標値	20000人	整備の進捗により、歩道整備や道路改良及び交通安全対策等による道路利用者の安全性や利便性が向上したため、県内の交通事故死傷者数の減少に寄与した。
	最 終 実績値	16117人	